

那覇市建設コンサルタント業務成績評定審査基準
那覇市業務委託契約約款（工事監理）適用編・建築工事の場合

（目的）

第1 この運用は、那覇市が発注する建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事（以下「営繕工事」という。）に係る建築工事監理業務委託の成績評定（以下「評定」という。）の標準的な方法について必要な事項を定め、評定の適切な実施、評定結果の発注者間での相互利用を促進し、もって営繕工事の品質確保に資することを目的とする。

（適用）

第2 この運用は、営繕工事に係る建築工事監理業務の評定に適用する。

（評定の方法）

第3 評定は、建築工事監理業務の発注者が、建築工事監理業務ごとに当該業務の受注者についてその履行課程及び成果に関する評価項目について行った評価から評定点を算定することにより行うものとする。

2 評定者は、評定を行おうとする業務（以下「対象業務」という。）について、別添の評定表により評定を行うものとし、評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除並びに配点の変更は行わないものとする。

（評価項目）

第4 評価項目の内容及び配点は表－1のとおりとする。

（調査職員の評定）

第5 調査職員の評定は、次によるものとする。

- (1) 主任調査員は、評定表①〔主任調査員用〕により主任調査員評定点の算定を行う。
- (2) 調査員は、評定表②－1〔調査員用〕を用いて、管理・統轄評定点の算定を行う。なお、対象業務の分野（建築、電気設備、機械設備）のうち主たる分野を担当する調査員が、他の分野を担当する調査員の意見を反映し行うものとする。
- (3) 調査員は、評定表②－2により、各分野評定点の算定を行う。
- (4) 各分野評定点の合計は、(3)の各分野評定点に各分野比率を乗じて得た点の総計とし、小数点以下第2位を四捨五入する。なお、各分野比率は、表－2を参考として、合計点が1.0になるように業務量に応じて比例配分する。なお、これによりがたい場合には、業務量の積み上げにより比率を算定することとする。
- (5) 調査員評定点は、(2)の管理・統轄評定点及び(4)の各分野評定点の合計に比率を乗じて得た点の総計とし、小数点以下第2位を四捨五入する。なお、比率は、管理・統轄評定点0.2、各分野評定点の合計0.8とする。
- (6) 調査職員評定点は、(1)の主任調査員評定点及び(5)の調査員評定点に比率を乗じて得た点の総計とし、小数点以下第1位を四捨五入して整数にする。なお、比率は、主任調査員評定点0.2、調査員評定点0.8とする。

（検査員の評定）

第6 検査員の評定は、次によるものとする。

- (1) 検査員は、評価表③〔検査員用〕により検査員評定点の算定を行う。検査員評定点は、検査の都度、作成する評定点の平均とする。
- (2) 検査員評定点は、小数点以下第1位を四捨五入して整数にする。

(業務評定点の算定)

第7 業務評定点の算定は次によるものとする。

- (1) 業務評定点は、調査職員評定点及び検査員評定点に比率を乗じて得た点の総計とし、小数点以下第1位を四捨五入して整数にする。なお、比率は、調査職員評定点0.8、検査員評定点0.2とする。
- (2) 対象業務の履行中に受注者に起因する事故等が発生し、当該業務に関し指名停止等の措置がとられた場合は、当該業務の総合点に対して、表－3により15点まで減点することができる。
- (3) 対象業務において、受注者に起因する契約の違反が発生し、債務の不履行又は債務の不履行とともに損害賠償の請求等の措置を行った場合は、当該業務の業務評定点に対して、表－4により20点まで減点することができる。また、業務評定点が採点された後に当該違反が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

(評価の修正)

第8 那覇市建設コンサルタント業務成績評価試行要領（以下「要領」という。）の第7条に定める評価を修正する必要があると認められる場合とは、次の場合とする。

- (1) 第7(3)により遡って減点を行った場合
- (2) 工事施工中又は工事完成後に生じた事由などにより、那覇市建設コンサルタント業務成績評価評価委員会の審議を経て評価の修正を行う必要があると判断した場合

附 則

- 1 この基準は、平成23年12月13日から施行する。
- 2 この基準の規定は、この基準の施行の日以後に締結する業務委託契約から適用する。

表－１ 評価項目の内容及び配点

評価項目			評価の視点	調査 職員	検査員
プロセス 評価	専門 技術 力	業務執行技術力	目的と内容の理解	0.448	－
			必要情報の把握	1.728	－
			検討・確認項目、検討・確認内容	1.728	4
			打合せ資料の内容	1.728	－
			十分な技術力	1.728	－
	管理 技術 力	迅速性、 工程管理能力、 調整能力	実施手順、工程計画	0.496	2
			実施体制	0.496	
			打合せ内容の理解、記録	1.392	
			内部関係者（受注者内）への情報伝達	0.368	
			工程管理	2.544	
		品質管理能力	ミス防止の実施	0.512	－
	弾力性等	当初工程計画の変更	1.28	－	
	コミュニケーション 力	説明力、表現力	理解しやすい説明・表現	0.64	－
			円滑な業務遂行への努力	1.152	－
	取組姿勢、 社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	2.88	－
結果 評価	施工計画の確認検討、 施工図等の検討、 工事の確認		目的の達成度	2.96	－
			業務報告書等の的確な取りまとめ	2.96	1
			ミスの有無	2.96	－
小　　計				28	7
合　　計				35	

表－２ 発注方法による各分野比率例

発 注 方 法	建 築		電気設備	機械設備
	意 匠	構 造		
建築・設備込み	0.42	0.18	0.20	0.20
建築のみ	0.70	0.30	－	－
設備のみ	－	－	0.50	0.50

表－３ 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	文書注意	指名停止が １ヶ月まで	指名停止が １ヶ月を超える
減 点 数	５点	１０点	１５点

表－４ 債務の不履行又は債務の不履行とともに損害賠償の
請求等の措置を行った場合の減点基準

	履行請求又は履行請求とともに 損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 履行請求又は履行請求とともに 損害賠償の実施
減 点 数	10点	20点

【参考：評定点の算定式】

$$\begin{aligned}
 (\text{評定点}) = & \left\{ (\text{対象項目に対する評定結果の合計値}) \times \frac{35\text{点}}{\text{対象項目に対する配点の合計 (満点)}} \right\} \\
 & + 65\text{点 (標準点)}
 \end{aligned}$$

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	10	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1」を付与する。					0	☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他（理由： ）
					得点率を記入		0				
		小計	10						0		
	管理技術力	工程管理能力	実施計画、実施体制	7.5	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1.0」を付与する。					0	☐ ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。 ☐ ・工程管理において積極的な姿勢が見られた。 ☐ ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員及び資格者が確保されていた。 ☐ ・その他（理由： ）
					得点率を記入		0				
		小計	7.5						0		
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	10	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1.0」を付与する。					0	☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ☐ ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。 ☐ ・その他（理由： ）
					得点率を記入		0				
		小計	10						0		
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	達成度	7.5	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して得点率「-1」、「-0.5」、「0」（基準点）「0.5」、「1.0」を付与する。					0	☐ ・業務成果は、業務目的に照らし、特に評価できるものであった。 ☐ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ☐ ・その他（理由： ）	
				得点率を記入		0					
	小計	7.5						0			
合計				35						0	
評定点				合計+65					65		

※「得点率」は、「チェック数」に連動した自動計算を行いません。必ず「得点率」にも記入してください。

所 見	
-----	--

建築工事監理委託業務成績評定

業務名：

評定表②－１「調査員用（管理・統轄）」

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
					管理・統轄						
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ■ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 □ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 □ ・当該業務と他の業務、事業の関連が理解されていた。
			必要情報の把握	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認項目、検討・確認内容	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
			打合せ資料の内容	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
			十分な技術力	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
			小計	5						0	

建築工事監理委託業務成績評定

業務名：

評定表②－１「調査員用（管理・統轄）」

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	管理・統轄 評価細目
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	実施手順、工程計画	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・契約締結後14日以内に業務計画書が提出されるなど、速やかに業務着手がなされた。 ■ ・業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた。 □ ・立案された実施手順と工程計画は、整合が図られ、かつ業務内容に適合したものであった。 □ ・実施手順の設定、工程計画の立案にあたり、業務を効率的あるいは円滑に遂行するための工夫がなされていた。
			実施体制	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・契約図書に基づき、管理技術者届が提出された。 ■ ・業務計画書に示された業務体制組織計画に基づく実施体制により、業務が履行されていた。 □ ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できる、適切な構成となっていた。 □ ・業務を効率的あるいは円滑に遂行できるよう、必要な人員数が確保されていた。
		打合せ内容の理解、記録	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。	
			内部関係者（受注者内）への情報伝達	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・内部関係者への情報伝達が確認された。 ■ ・内部関係者への情報伝達にミスがなかった。 □ ・内部関係者への情報伝達は迅速であった。 □ ・管理技術者は、業務遂行に係わるあらゆる状況を理解していた。
		工程管理	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。	
			小計	8						0	
		品質管理能力	ミス防止の実施	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・当該業務において、品質管理のための体制が確保されていた。 ■ ・具体的な業務の実施状況の確認手法を記した、業務計画書が提出された。 □ ・第3者（管理技術者、担当技術者以外）のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 □ ・品質管理のためのシステム（ex. ISO9001）が構築されていた。
			小計	4						0	
		弾力性等	当初工程計画の変更	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」 0					0	□ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。
			小計	2						0	

評定表②－１「調査員用（管理・統轄）」

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	管理・統轄	評価細目
					優	やや	普通	やや	劣			
					1.0	0.5	0	-0.5	-1			
コミュニケーション力 プロセス評価	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。		
		円滑な業務遂行への努力	1	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0		□・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		小計	2						0			
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■・管理技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 □・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。	
			小計	2						0		
	結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。	
業務報告書等の的確な取りまとめ			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。		
ミスの有無			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0			■・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ■・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 □・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。
小計			12						0			
合計			35						0			
評定点			合計+65					65				

所 見	
-----	--

建築工事監理委託業務成績評定

業務名：

評定表②－２「調査員用（建築）」

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	各分野					得点	評価細目
					得 点 率						
					優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
			打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
			十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
		小計		10						0	
	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
			小計		6						0
		弾力性等	当初工程計画の変更	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」 0					0	□ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。
			小計		2						0

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	各分野	
					優	やや	普通	やや	劣		評価細目	
					1.0	0.5	0	-0.5	-1			
					評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」							
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1	0					0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■	

所 見	
-----	--

評価項目			評価の 視点	配点	得点率					得点	各分野	
					優	やや	普通	やや	劣		評価細目	
					1.0	0.5	0	-0.5	-1			
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■	・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。
					0						■	・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。
											□	・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。
											□	・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■	・検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。
											■	・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。
											□	・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。
											□	・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
		十分な技術力	打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■	・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。
											■	・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。
											□	・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。
											□	・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■	・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。
											■	・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。
											□	・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。
											□	・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
		弾力性等	小計	10						0		
			打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■	・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。
											■	・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。
		工程管理									□	・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。
											□	・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■	・打合せ頻度は、十分なものであった。
		弾力性等									■	・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。
											□	・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。
											□	・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
	弾力性等	当初工程計画の変更		2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	□	・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。
											□	・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。
		小計	2	2						0		

建築工事監理委託業務成績評定

業務名：

評定表②－２「調査員用（構造）」

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	各分野	
					優	やや	普通	やや	劣		評価細目	
1.0	0.5	0	-0.5	-1								
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 □ ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 □ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。					
			円滑な業務遂行への努力	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」	0	□ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 □ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。					
		小計	3		0							
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 □ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 □ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。					
			小計	2		0						
	結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 □ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 □ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。					
業務報告書等の的確な取りまとめ			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ■ ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 □ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 □ ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。						
ミスの有無			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」	0	■ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ■ ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 □ ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 □ ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。						
小計			12		0							
合計			35		0							
評定点			合計+65			65						

所 見	
-----	--

建築工事監理委託業務成績評定

業務名：

評定表②－２「調査員用（電気設備）」

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	各分野 評価細目
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	専門 技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認項目、 検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
			打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
			十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
			小計	10						0	
	管理 技術力	迅速性、工程 管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、 記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
			小計	6						0	
		弾力性等	当初工程計画の 変更	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」 0					0	□ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。
			小計	2						0	

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	各分野 評価細目	
					優	やや	普通	やや	劣			
					1.0	0.5	0	-0.5	-1			
					評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」							
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1	0					0	■ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■	

所 見	
-----	--

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	各分野 評価細目
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	専門 技術力	業務執行技術力	必要情報の把握	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・業務着手時点において、必要な技術基準等が準備されていた。 ■ ・業務実施の各段階で、必要な技術基準等の内容が理解されていた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされた。 □ ・業務実施の各段階で、新たに入手した資料が理解・活用されていた。
			検討・確認項目、検討・確認内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・検討・確認項目は、契約図書の項目を満足していた。 ■ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 □ ・業務目的に照らし必要な検討・確認項目が不足無く実施され、関連する業務・事業間の整合も図られていた。 □ ・実施された検討・確認項目の技術的内容は、新たな、あるいは高度な設計等の技術に対応した難易度の高いものであった。
			打合せ資料の内容	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ資料は、業務の各段階で必要な内容が盛り込まれたものであった。 ■ ・打合せ資料の内容は、必要な技術レベルを満足するものであった。 □ ・打合せ資料は、前提条件、検討結果等の要点が明記された理解しやすいものであった。 □ ・打合せ資料は、作図や文章表現にミスがほとんど無かった。
			十分な技術力	2.5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応に必要な技術力を有していた。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは高度な設計等の技術に十分対応できる能力を有していた。
			小計	10						0	
	管理 技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	打合せ内容の理解、記録	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せごとに、打合せ記録簿が作成された。 ■ ・打合せ後、遅延無く打合せ記録簿が提出された。 □ ・打合せ記録簿は、打合せ結果を的確に反映していた。 □ ・打合せ後の対応（追加資料送付、進行状況連絡等）は、打合せ結果の内容に沿ったものであった。
			工程管理	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」 0					0	■ ・打合せ頻度は、十分なものであった。 ■ ・契約図書に定められた業務が、業務工程計画どおりに実施された。 □ ・打合せ時期は、概ね業務着手時に立案した打合せ計画どおりであった。 □ ・打合せ、連絡等により、発注者が業務の進捗状況を概ね把握できる状態にあった。
			小計	6						0	
		弾力性等	当初工程計画の変更	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」 0					0	□ ・変更指示書に基づき、当初工程計画からの変更要請に対応した。 □ ・その結果生じた対応結果が、特に優れていた。
			小計	2						0	

評価項目			評価の 視点	配点	各分野					得点	評価細目
					得 点 率						
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、表現力、協調性	理解しやすい説明・表現	1	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ■ □ □ ・業務計画書及び業務報告書は、日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ・業務計画書及び業務報告書は、検討・確認結果が簡潔明瞭であり、理解しやすい内容となっていた。 ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			円滑な業務遂行への努力	2	評価細目チェック数 =0⇒「普通」、 =1⇒「やや優」、 =2⇒「優」					0	□ □ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	3						0		
	取組姿勢、社会性	責任感、積極性	責任感の強さ、積極性	2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ■ □ □ ・担当技術者として、業務の取組み姿勢に積極性と責任感が認められた。 ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	2						0	
	結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	目的の達成度	4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ■ □ □ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容であった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討・確認項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。
業務報告書等の的確な取りまとめ			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ■ □ □ ・契約図書にある業務内容、業務遂行段階での指示事項が的確に取りまとめられている。 ・業務報告書やその他検討提出資料の内容において、著しい不整合がみられなかった。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ確認しやすい。 ・契約図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」、 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ■ □ □ ・工事の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・工事の工程に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・チェックリスト等の業務実施状況の記録により、ミスの防止が図られていた。 ・業務報告書の内容にミスは無く、打合せ記録簿等も完備されていた。	
小計			12						0		
合計			35						0		
評定点		合計+65					65				

所 見	
-----	--

業務名：

評定表③〔検査員用〕

※該当する評価細目の「□」を「■」に置き換える。

評価項目			評価の 視点	配点	得 点 率					得点	評価細目
					優	やや	普通	やや	劣		
					1.0	0.5	0	-0.5	-1		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討・確認項目、検討・確認内容（施工図の確認）	10	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・設計内容（当該工事の仕様書や図面等の内容）や関係法令の内容が把握されていた。 ■ ・当初の検討項目や指示事項等について一貫性のある技術的な知識をもって対応した。 □ ・業務特性、現地条件、地域特性等の諸条件を考慮した上で、課題の解決が図られていた。 □ ・新たな、あるいは難易度の高い内容に十分対応した。
					0						
		検討・確認項目、検討・確認内容（工事の確認、指示事項等への対応）	10	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・施工計画等の確認等や工事が設計図書の内容に合致するかどうかの確認等を行った。 □ ・施工計画等の確認等や工事が設計図書の内容に合致するかどうかの確認等がもれなく的確に行われた。 ■ ・協議事項や指示事項に対する対応がなされた。 □ ・協議事項や指示事項に対する対応が十分な説明資料をもってなされた。	
				0							
	管理技術力	迅速性、工程管理能力、調整能力	10	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・施工図や工事の確認、指示事項等への対応が行われた。 □ ・施工図や工事の確認、指示事項等への対応が必要な時期に迅速に行われた。 ■ ・工事請負業者等との調整が円滑かつ十分に行われた。 □ ・建築、設備など各分野をまたがる調整が円滑かつ十分に行われた。	
				0							
小計		20						0			
結果評価	施工計画の確認検討、施工図等の検討、工事の確認	業務報告書等（業務計画書、業務報告書）の的確な取りまとめ	5	評価細目チェック数 =0⇒「劣」 =1⇒「やや劣」、 =2⇒「普通」、 =3⇒「やや優」、 =4⇒「優」					0	■ ・必要な項目を網羅している。 ■ ・記載内容に著しい不整合が見られない。 □ ・的確で簡潔な表現になっており、業務の履行状況が確認しやすい。 □ ・記載方法に創意工夫がみられ、補足資料等が充実している。	
				0							
		小計		5						0	
合計				35						0	
評定点				合計+65					65		

所 見	
-----	--